



**IBARAKI TOYOPET  
RACING TEAM**

**GR86/BRZ Race  
PROFESSIONAL Series**

Rd3 オートポリス

**ついにつかんだシングルグリッド、7番手からのスタート  
波乱の決勝レースを走り抜いて、初入賞は5位で飾る！**

**AUTO  
POLIS**  
INTERNATIONAL  
RACING COURSE

GR86/BRZ Race PROFESSIONAL Series 第3戦

2018年5月27日 オートポリス (大分県)

晴れ 10周 (26台出走)

予選7番手/決勝5位

ドライバー：平木 湧也

チーフメカニック：清水 修

メカニック：倉持 秀成

メカニック：宮本 裕太



茨城トヨペットレーシングは参戦4年目となるGR86/BRZレースに、昨年に引き続き平木湧也選手を擁してプロフェッショナルシリーズに挑む。そのシリーズ第3戦が、久々のワンデイイベントとして5月27日にオートポリスで開催された。

九州唯一の公認コースであるオートポリスは、阿蘇山中に位置する四方を緑で囲まれたテクニカルコースだ。アップダウンにも極めて富んでおり、コーナーそれぞれ一癖あることから、難関として知られる一方でドライバーには攻め甲斐があると、高い定評を持つ。

前回のレースでは、予選の失敗から後方グリッドに沈んでしまった平木選手ながら、決勝ではバトルを繰り広げ、しっかり順位を上げていた。これで予選もうまくまとめれば……とは、スタッフの誰もが思うところだった。そこで今回は水曜日からサーキット入りして、木曜日から練習を開始。金曜日までドライコンディションで入念な走り込みができたことから、雨に見舞われた土曜日午前のスポーツ走行、そして午後からの専有走行はリズムを崩さぬために、あえて回避。だが、最後のスポーツ走行のみドライコンディションに転じていたこともあり、ここで予選シミュレーションと、決勝セットの最終確認も済ませることができていた。

予選と決勝レースの行われる日曜日は、朝から好天に恵まれた。今回も予選では、コースオープンと同時に走行を開始した平木選手は、ワンアタックで計測を済ますべくアウトラップに、しっかり準備を整える。直接の前車との間隔はしっかり整えていたが、さらに前を走る車両に、1コーナーでのコースアウトが。そのため、平木選手もやや早めのブレーキングとなってしまうが、最小限のロスで済んだのは不幸中の幸い。そこから先はしっかりまとめられたこともあり、2分12秒916をマークして、その時点での5番手につけることとなる。

ほとんどの車両がピットに戻り、完全にクリアラップが取れる状態になったラスト5分間に、ふたりの先行を許したものの、「茨城トヨペット 86 レーシング」をドライブする平木選手は7番手で予選をクリア。初めてシングルグリッドから決勝レースに挑むこととなった。

「ピットの位置が1コーナー寄りで良かったので、前の方から出て行けたのが、すごく良かったと思います。ただ、アタックし始めてすぐの1コーナーでコースアウトしていた車両がいて、ちょっとブレーキを手前でかけてしまって、少しロスしてしまいましたが、グリップしない2コーナーを抑え気味で走ったり、うまくまとめることができました。自己ベストの7番手から決勝に挑めますし、練習ではロングも調子良かったんです。だから今週、このままで走ればと思っています」と平木選手。

4時間足らずの短いインターバルで行われた決勝レースは、引き続き恵まれたコンディションでの戦いにな

った。今回の周回数は10周、これまでとは少々異なる景色からスタートを切る平木選手が、どんなレース展開を見せてくれるのか、大いに注目された。好スタートを切った平木選手ながら、まわりは名だたるレース巧者ばかり。1コーナーまでのポジションアップは果たせなかったものの、オープニングラップの第1ヘアピンで1台を抜いて6番手に浮上する。

最初は4番手を争うグループの後尾につけていた平木選手ながら、トップグループがトレイン状態となっていたことから、やがて平木選手たちもその中に加わるように。そんな中、前方で最初のハプニングが発生する。4周目の1コーナーで、2番手と3番手の車両が接触したため、後続にも影響が。これでいったんは7番手に後退してしまった平木選手だったが、後続との差は開いていたことから、引き続き前の車両を追うことに専念できるように。

二度目のハプニングが起こったのは、7周目の第1ヘアピン。またも業を煮やした3番手の車両が2番手と接触。コントロールを失った車両を平木選手はアウトからかわしていったのに対し、インから行った車両は接触。この好判断によって平木選手は、5番手に浮上することとなる。これでいったんは離れていた、後続グループの接近を許すこととなった平木選手だったが、その走りはいたって冷静だった。タイヤのグリップダウンを感じていた平木選手ながら、冷静な走りでのプレッシャーをかけられるまでには至らず。

その結果、平木選手は5位でフィニッシュして初入賞。これまでの苦労が一気に報われることとなった。レース後のピットには、笑顔が満ち溢れていた。次回のレースは、6月23～24日に岡山国際サーキットで開催される。引き続きの活躍、そして今度は表彰台獲得に期待がかかることとなった。



## 平木湧也選手のコメント



「スタートはすごく良かったんですが、前が詰まっていたので、抜くまでには至らなかったんです。それでもすぐ第1へアピンでアウトから1台を抜けて6番手に。最初の1コーナーでのアクシデントでは2台に抜かれてしまいましたが、次の第1へアピンでのアクシデントでは、前の脱輪してイン巻きした車両を僕はアウトからかわせたのですが、イン側に行った車両はぶつかっていたので、ツキもありましたね。その後はちょっとタイヤがきつい感じでしたが、落ち着いて最後まで走ることができました。初入賞がいきなり5位でいいのかな、という感じはありますが（笑）、今までは逆に噛み合わなかったの。今回は予選が良かったというのが大きくて、だからこそその結果だと思います。今年に入って練習までは調子が良くても、うまく予選がまわっていませんでした。チームもプロフェツ症なるシリーズ2年目で、流れもわかってきましたし、僕も走り我慢することを覚えたので（苦笑）。いろいろわがままも聞いてもらって、かなりいいクルマになってきたので、これからも頑張ります！」

## チーフメカニックのコメント ～清水 修 (FUN TO DRIVE 推進グループ)～



GR86/BRZ Race PROFESSIONAL Series への派遣にあたり、ご支援・ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。今回より本格的にチーフメカニックとして参加する事となり、レースウィークを通して整備に携わせて頂きました。ドライバー、車両、チームと全体が上手く噛み合い5位、初のポイント獲得という成績を残せた事が嬉しく思います。ですが表彰台の頂点に乗るという目標は達成出来ておりませんので次戦以降、今まで以上の団結力で挑みたいと思いますので応援宜しくお願い致します。

## メカニックのコメント ～倉持 秀成 (守谷松波店)～



昨年のGR86/BRZ Race PROFESSIONAL Series 第8戦 SUGO に続き2回目の参加をさせていただきました。前回勉強させて頂いたお陰か、非常にリラックスして視野も広く過ごせたと感じています。大きな車両トラブルもなく、そして何より平木選手が最大限のパフォーマンスで5位フィニッシュ初入賞という成績でレースを終えられたことは、チームとして大きく前進できた瞬間だと思います。そのチームに微力ながら貢献できたことが何より嬉しいです。まだまだ戦いは続きます。皆さんの積極的な参加と応援をよろしくお願い致します。

## メカニックのコメント ～宮本 裕太 (下妻店)～



今回初めてレースメカニックとして参加させて頂きました。参加に辺り店舗スタッフ、関係者の皆様にはご協力頂き、ありがとうございました。主にタイヤの内圧管理、タイヤのシェービング、ブレーキパッド交換、予選・決勝前の油脂類交換等の作業を担当させて頂きました。普段の整備とはまた違うシビアな管理をしながら、とても良い経験が得られました。レースの結果として、5位入賞・初ポイント獲得という場面に立ち会えたこと、とても嬉しく思いました。次は表彰台を目指して頑張ってください。応援しています。

## チーム監督のコメント ～石川 一郎 (FUN TO DRIVE 推進グループ)～



GR86/BRZ Race 第3戦 オートポリスは、予選7番手、決勝5位でフィニッシュして、初入賞を果たすこととなりました！ご支援、ご声援いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。今シーズン、18号車 IBARAKI TOYOPET RACING と、7号車 T by Two CABANA Racing はタイアップし、チーフエンジニアの山崎氏のもと走行データやレース車両のセッティングを共有しております。第2戦 SUGO では、#7 堤優威 選手が優勝を飾り、今大会では#18 平木湧也選手が5位入賞ととても良い流れで来ています。ドライバーの二人は、スーパー耐久シリーズでも同じチームから参戦しており、お互いを高めあう良きライバルが近くにいることの大切さ感じました。茨城トヨペットレーシングチームとしても CABANA チームと切磋琢磨し、表彰台の頂点を目指し頑張ります。次戦は6月23～24日に、岡山国際サーキットで開催されます。引き続き応援よろしくお願い致します！